

中学校入学試験問題

(第 1 回)

社会・理科

(2023 年度)

指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
それまでこのページをよく読んで待ちなさい。

〔注 意 事 項〕

1. この問題冊子には、社会・理科 2 科目の問題があります。
- 社会 [1 ページ～ 8 ページ]
理科 [9 ページ～ 14 ページ]
2. 監督^{かんとく}の先生の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
3. 問題の内容についての質問には答えられません。それ以外のことがらについてたずねたいことがあれば、手をあげて監督^{かんとく}の先生に申し出なさい。
4. 定規，コンパス，分度器，計算機などを使用してはいけません。
5. この問題冊子に受験番号と氏名を記入しなさい。
6. 答えは，必ず解答らんのわくの中におさまるように書きなさい。

受 験 番 号				

ふりがな	
氏 名	

1 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

近年、夏の暑さが長く続いたり、春に突然雪が降ったり、何十日も雨が降らなかったり、異常気象が当たり前のようになっています。季節の移り変わりや天気の変化が昔とは明らかに変わりました。これは「①」の影響が大きいといわれています。①は、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスが大きな要因と考えられ、大気中に温室効果ガスが増えると、地球の周りに温室効果ガスの膜ができ、熱を閉じこめてしまいます。その結果、地球が暖められて、気温が上昇し様々な問題を引き起こしています。なかでも、台風の大規模化や大雨も強く影響を受けているといわれています。

日本は国土の②割が山地であるため、河川は急勾配^{こうばい}で流れも速く、はんらんなどが起きやすい地形です。また、日本近海を暖流が流れており、^③雨が多い気象条件から、土砂災害も起こりやすくなっています。日本でも古くから災害と向き合ってきており、例えば、水に関する「川」，「谷」，「沢」など自然災害や地形の形状から付けられた「地名」が多く残っています。日本は世界有数の災害国家です。なかでも、最も被害が大きいのは「水害」で、長良川、^{いびがわ}揖斐川などの木曾三川が流れ込む濃尾平野では、④と呼ばれる水害から集落や耕地を守るための堤防で囲まれた地域が見られます。

面積が大きい都道府県上位 10 位までで国土の約⑤%を占めているため、林業の保護や地域経済の活性化などをあわせた防災対策が必要になっています。臨海部においても、日本は 6852 の島々から構成されています。^⑥最近、特に問題となっているのが、海の⑦ごみの問題です。2015 年の国連サミットで決まったのが「^⑧SDGs」です。2016 年から 2030 年の 15 年間で 17 の目標を達成すると決められました。

問 1 ^{くうらん}空欄①にあてはまる語句を答えなさい。

問 2 空欄②にあてはまる数字として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 1 (イ) 3 (ウ) 5 (エ) 7

問 3 下線部 ③ に関して、次の中部地方の都市である、金沢、高山、浜松を年平均降水量の多い順に並べ替えなさい。

問 4 空欄④にあてはまる語句を答えなさい。

問 5 空欄⑤にあてはまる数字として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 10 (イ) 30 (ウ) 50 (エ) 70

問 6 下線部 ⑥ に関して、島数の多い都道府県上位 3 県にあてはまる組み合わせを次の (ア) ～ (ク) から一つ選び、記号で答えなさい。

順位	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)
1	長崎	長崎	鹿児島	鹿児島	沖縄	沖縄	北海道	北海道
2	鹿児島	鹿児島	沖縄	長崎	北海道	長崎	鹿児島	鹿児島
3	北海道	沖縄	北海道	沖縄	長崎	北海道	沖縄	長崎

問 7 空欄⑦にあてはまる語句をカタカナで答えなさい。

問 8 下線部 ⑧ を日本語で何といいますか。

次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

昨年は、日本に鉄道が開通した年から 150 年目にあたる年でした。世界で最初に鉄道が本格的に開業したのはイギリスで、^①1830 年代の^②ことでした。鉄道はその後各国にまたたく間に拡大していき、オランダを通じて幕府にも情報が伝えられていたことが知られています。明治維新後には、新政府の方針として鉄道開設が決定され、^③東京と開港地であった横浜との間で、いちはやく開設されたのでした。その後東海道線が全通したことで、東京と京都・大阪は鉄道開通から ④ 年もかからずに結ばれることになったのです。

江戸時代には東京（江戸）から東海道を通して京都までは、歩いた旅人は平均 12 日だったといわれ、参勤交代などの大名行列では大阪（坂）からは平均 19 日であったのが、鉄道によって東京・大阪間は約 20 時間で移動できることになったのです。また、江戸時代には京都・大阪（坂）^⑤から江戸への商品の輸送が重要でしたが、船を使って 10 日あまり、天候によって 20 日はかかっていました。鳥羽・伏見の戦いに敗れた後に、将兵をおいて大阪（坂）城を脱出した徳川慶喜は、軍艦で 5 日後に江戸に逃げ帰ったことと比較しても、鉄道の開通が非常に画期的であったことがわかります。

^⑦政権の中心がずっと近畿地方にあったころには、各地から都へのルートが整備されました。古代には現在の東京都と埼玉県は ⑧ 国と定められ、農民が都に税を納めるために運ぶ日数は 29 日と定められていました。^⑨平氏の滅亡後に奥州藤原氏を滅ぼした源頼朝は、後白河法皇からの再三の要請によりようやく都に上りましたが、その際にも大軍を率いていたとはいえ鎌倉を出発してから 1 カ月余りかけて入京した記録が残っています。国内の東と西の重要都市を結ぶ鉄道の開通が、大きな役割を果たしていくことは時間的な問題からとも理解ができると思います。

東海道線の全通以降も鉄道は続々と延長されましたが、日本全国が結ばれたのではなかったのです。鉄道が開通しない地域は発展から取り残され、鉄道で結ばれたことで全国から大量の商品が流入し、伝統産業が衰えるという地域もありました。太平洋側が主に発展したことで、^⑩「表日本」と「裏日本」といったような区別による地域格差も生まれてしまったのです。全国で整備されている^⑪新幹線網をみても、昨年に東北・上越新幹線は開業 40 周年を迎えましたが、1964 年の東海道新幹線に続けて 1975 年に山陽新幹線が開通していることも興味深い事実といえるでしょう。

問 1 下線部 ① と同じ年の出来事を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 岩倉使節団は、開通した鉄道に乗って横浜まで行きアメリカに出発した。
- (イ) 留学から帰国した津田梅子は、横浜から鉄道を使って東京に戻った。
- (ウ) 西南戦争が起こり、政府は兵士を鉄道で輸送して横浜から九州に送った。
- (エ) 日本が西洋の暦（^{こよみ}太陽暦）を採用したことで、横浜の外国商人の不便も解消された。

問 2 下線部 ② に起こった出来事として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 元幕府の役人であった大塩平八郎が、大阪（坂）で幕府に対して反乱を起こした。
- (イ) キリスト教への厳しい弾圧^{だんあつ}から、島原・天草で大規模な反乱が起こった。
- (ウ) 徳川吉宗が幕府の財政を立て直すために、改革をおこなった。
- (エ) 水野忠邦が幕府の力を取り戻すために、改革をおこなった。

問 3 下線部 ③ の沿線にあったとされる、アメリカ人のモースによる考古学上の発見があった遺物を答えなさい。

問 4 空欄 ④ にあてはまる年数として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 5 (イ) 10 (ウ) 20 (エ) 35

問 5 下線部 ⑤ に関連して、江戸時代の状況として間違っているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 参勤交代などにより江戸は人が集まり、人口が 100 万人に達した。
- (イ) 全国の物資は大阪に集まったので、「天下の台所」とよばれた。
- (ウ) 政治の中心が江戸に移ったが、京都は文化や宗教で中心的役割を果たした。
- (エ) 幕府は朝廷を厳しく統制したため、京都はしだいに衰えていった。

問 6 下線部 ⑥ が深く関わった出来事を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 日米和親条約 (イ) 薩長同盟 (ウ) 大政奉還 (エ) 五稜郭の戦い

問 7 下線部 ⑦ に関連することとして正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 3 世紀に邪馬台国があったとも考えられており、勢力範囲は朝鮮半島にも及^{およ}んでいた。
- (イ) 5 世紀になると巨大な古墳がつくられ、ヤマト政権の支配が強まっていった。
- (ウ) 7 世紀に中国にならった本格的な都が建設され、律令にもとづく政治がおこなわれた。
- (エ) 9 世紀に仏教勢力の影響^{えいきょう}を断ち切るために、平城京から平安京に都が移された。

問 8 空欄 ⑧ にあてはまる当時定められた国名を答えなさい。

問 9 下線部 ⑨ に関連することとして正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 源頼朝は、平氏を追討するために守護・地頭の設置をおこなった。
- (イ) 平氏は、伊豆で挙兵した源頼朝が攻め上ったために都落ちした。
- (ウ) 奥州藤原氏は、平泉を中心に繁栄し約 100 年間東北地方を支配した。
- (エ) 後白河法皇は、幕府を打倒するために軍事力を強化していった。

問 10 下線部 ⑩ に関連して正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 戊辰戦争で新政府側に敗れて荒廃した東北地方は、最優先に開発がおこなわれた。
- (イ) 明治維新の中心となった薩長土肥 4 藩の城下町に、優先的に鉄道が開通した。
- (ウ) 東北地方から九州に至る太平洋側の発展がめざましく、太平洋ベルト地帯と呼ばれた。
- (エ) 高度経済成長の中では、農村部からの人口流出が労働力となり発展を支えた。

問 11 下線部 ⑪ の期間の出来事として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) はじめての大型間接税として、消費税 3 %が導入された。
- (イ) 湯川秀樹が、日本人としてはじめてノーベル賞を受賞した。
- (ウ) 1 ドルが 360 円と設定され、日本は国際経済に復帰した。
- (エ) 沖縄返還が実現し、沖縄県は 27 年ぶりに日本に復帰した。

3

次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

2018 年 6 月に、民法の定める成年年齢を 18 歳に引き下げることなどを内容とする「民法の一部を改正する法律」が成立しました。

民法が定める成年年齢を 18 歳に引き下げると、18 歳に達した者は、① 一人で有効な契約をすることができ、父母の親権に服さなくなることになります。

日本における成年年齢は、② 1876 年以降、20 歳とされてきました。近年、③ 憲法改正国民投票の投票権年齢や公職選挙法の選挙権年齢などが 18 歳と定められ、④ 18 歳、19 歳の人たちにも国政上の重要な判断に参加してもらうための政策がすすめられてきました。⑤こうした流れもふまえ、今回、民法においても成年年齢が 18 歳に引き下げられることとなりました。

成年年齢の引き下げは、18 歳、19 歳の方の⑥ 自己決定権を尊重するものであり、今後の積極的な社会参加を促すきっかけとなることが期待されています。

問 1 下線部 ① について、成年年齢の引き下げによって可能となる契約の例として、間違っているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) クレジットカードを作成する。
- (イ) ローンを組んで自動車を購入する。
- (ウ) 一人暮らしのためのアパートを借りる。
- (エ) 国民年金に加入する。

問 2 下線部 ② よりも前におこった出来事として、正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 板垣退助らが民撰議院設立の建白書を提出した。
- (イ) 大隈重信によって立憲改進黨が結成された。
- (ウ) 大日本帝国憲法が發布された。
- (エ) 教育に関する勅語が發布された。

問3 下線部③に関する次のA・Bの記述について、その正誤の組み合わせとして正しいものをあとの(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。

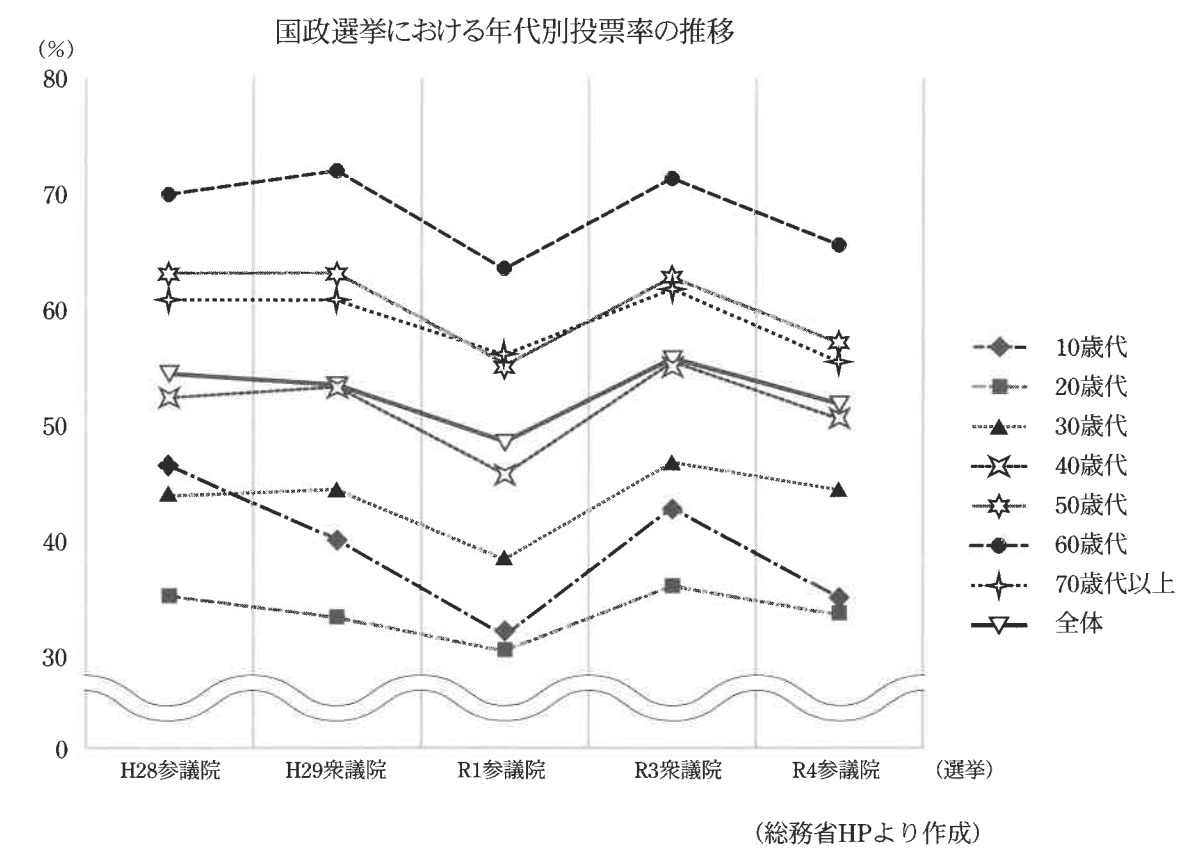
- A 憲法の改正は、衆議院の総議員の3分の2以上の賛成で発議することができ、参議院に憲法改正の発議権はない。
- B 憲法改正の承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際に行われる投票において、その過半数の賛成が必要となる。

- (ア) A－正 B－正 (イ) A－正 B－誤
- (ウ) A－誤 B－正 (エ) A－誤 B－誤

問4 下線部④に関する記述として、間違っているものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 候補者が選挙のために使用するはがきやピラについては、使用できる種類や枚数が決められている。
- (イ) 候補者や政党に対する誹謗中傷や「なりすまし」の危険性もあるため、インターネットを利用した選挙運動が、禁止されている。
- (ウ) 候補者が各家庭を回って支持を訴える戸別訪問は、買収や利害誘導の危険性があるため禁止されている。
- (エ) 選挙当日に仕事がある者や遠隔地にいて投票日当日に投票ができない場合には、期日前投票を行うことができる。

問5 下線部⑤について、次の表は、選挙権年齢が18歳に引き下げられてから行われた5回の国政選挙における年代別投票率の推移を示したものです。この表から読み取れることとして、正しいものをあとの(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えなさい。



- (ア) 過去5回の国政選挙において、最も投票率が高かったのは50歳代である。
- (イ) 最も有権者数の多い30歳代の投票率は常に全体の投票率を上回っている。
- (ウ) 選挙権年齢引き下げ以降、10歳代の投票率が全体の投票率を上回ったことはない。
- (エ) 選挙権年齢の引き下げにより20歳代の投票率も上昇傾向にあり、衆議院議員総選挙では40%を上回っている。

問6 下線部⑥などの、新しい人権の根拠と考えられる日本国憲法の条文について、空欄(A) (B)にあてはまる語句を、それぞれ漢字四文字で答えなさい。

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び(A)に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他国政の上で、最大の尊重を必要とする。

第25条 すべて国民は、健康で文化的な(B)の生活を営む権利を有する。

2023 年度 中学校入学試験(第 1 回)社会 解答用紙

受験 番号						ふりがな	
						氏名	

1

問 1		問 2	
問 3			
→		→	
問 4	問 5	問 6	問 7
問 8			

2

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7
問 8		問 9	問 10	問 11		

3

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
問 6				
(A)			(B)	

得 点	※

※には記入してはいけません。